



No.7 平成16年 9月 1日

本日の卓話
 9月1日(水)
 「新世代のための月間」
 地区ローターアクト委員会 磯田郁子委員長

のきっかけになったらと考えますし、今回の卓話、又フォーラムが有意義になりますように願っています。

5月23日の国際大会で、迷子になっていたナイジェリアのロータリアン男性4名女性1名を、電車と一緒に乗って、R.ロイヤルホテルまで案内しました。

例会記録

第2204回例会 8月25日(水)晴
 ロータリーソング「R-O-T-A-R-Y」斉唱
 ゲストスピーカーご紹介
 樋上幸夫様(地区社会奉仕委員長)

田中義信会員のところに、お礼のEメールと Oregbeni Benin City RC のバナーが送られてきました。

幹事報告

久保義誓幹事

- 1、例会変更(北摂11RCの例会変更)
 千里メイプル: 9/30(木) 18:30~
 於 明月記 親睦会の為
- 2、RI及び2660地区連絡事項
 - 1) 中野PGが8/15急逝されました(18日告別式でした)
 - 2) 地区委員会「活動計画書」10部
 - 3) 秋のライラ開催の案内 10/9(土)~11(月)
 於: 大阪市立信太山青少年野外活動センター
- 3、茨木市、他RCよりの依頼事項
 - 1) 秋の全国交通安全運動市中パレード参加依頼 9/23(祝) 13:00~ 要員3名
 - 2) 第55回茨木市美術展開催に伴う賞の提供依頼 (茨木RC賞4点) 10/3(日)
 - 3) 交通安全FAX通信

会長の時間

長澤利治会長

会員増強に続き、今回も地区より社会奉仕委員長に卓話をお願いし、又引き続きフォーラムにも参加していただきます。
 社会奉仕は皆様もご承知のように、4大奉仕の重要な位置にあります。茨木RC45周年を迎え、この茨木という地域でも、当初より社会奉仕をしなければならないことはたくさんあったように思われます。
 しかし、日本の経済の成長につれ、必要性が減少してきたと共に、他の東南アジア諸国への援助に変わっていった、ということはRIの強調事項にもある通りとなっています。しかし、この地域社会の中で全く社会奉仕の必要性が無くなったのか、というと違うと思います。今回の茨木RCが取り組んでいます府立養護学校のトイレの改修があります。これをきっかけとして、ハンディを持っている子供達に対して何が出来るか、

委員会報告

インターネットコミュニケーション委員会

野口健一委員長

クラブのホームページにRI100周年、茨木45周年式典の様を取り込んでいます。プログラムをクリックしますと、WCS、45年の歩み、社会奉仕事業のスライドも読めますし、ナレーションも聞けます。

出席報告

第2204回例会			前回回(第2202回)		
会員数(免除)	出席	欠席	出席率	欠席	補正出席率
30(9)	16	5	76.19%	1	95.45%

クラブの活動状況がよく分りますので、PR していただけたいと思います。(ただし、ADSL 回線以外はパソコンに無理があると思うのでクリックしない方がよい。)

卓 話

「社会奉仕委員会活動方針」

地区社会奉仕委員会 樋上幸夫委員長



本年はR I 100 周年、記念すべき年にあたり、社会奉仕委員会は、記念事業として献血拡大キャンペーンをメインにロータリーの原点にかえり、事業を実施する予定であります。

地区とは、各クラブに対してそれが実現出来るよう、お手伝いをするわけです。1 つの事業をするにしても各クラブ各会員の理解と協力が何より大切であり、クラブの社会奉仕委員長を通じ連絡を蜜に活動してまいります。

社会奉仕事業を効果的に進めて行くため、その地域に適合しているかどうか把握することから始め、充実した委員会運営をするため、各クラブの協力をよろしくお願い致します。

社会奉仕グループ

前年に引き続き保健衛生問題を取り上げ地域発展に寄与してまいりたいと思います。

○献血運動の充実、展開

(企業献血、クラブ献血の拡大に理解、協力)

ローターアクトとの協力

○ダメ・ゼッタイ運動の展開(薬物乱用防止運動)

麻薬、覚醒剤など薬物使用の低年齢化に反響する。

○ユネスコ寺子屋運動に協力

書き損じハガキ 1 円募金等

環境保全グループ

日常生活と地球環境との深い関わりについて関心を高めることが大切であると考え、さまざまな運動に同調して積極的に参画し、意識の高揚と活動の普及、啓蒙に努めてまいります。交通問題が引き起こす様々な公害を、国としてまた企業として取り組み、地球をクリーンにしようという運動が世界規模で実施されております。環境問題グループはそのような時代背景も踏

まえて活動してまいります。

○環境問題に対する会員の意識高揚

○「豊かな環境づくり大阪府民会議」の重点行動目標に協調した運動の推進

○環境問題に積極的に取り組んでいる企業訪問

○おおさか環境賞対象クラブの推薦

○世界環境デー 6 月の環境月間の運動への参画
交通問題グループ

交通問題特別委員会の活動も、日本のロータリー活動としては、発足以来7年を経過致しまして「交通戦争の中で私達一人一人が自覚を持ち、交通法規遵守につとめ、交通災害を減らし、地域社会にどうすれば貢献できるか」という会員の皆様方のご理解、ご関心も定着して来つつあり、個人レベルからも、クラブレベル地域全体のレベルまで高める活動を継続してまいります。

毎月20日実施されておりますノーマイカーデーにロータリアン全員の協力をお願いしたいと思います。皆様方のご理解とご指導ご鞭撻によりまして、尚一層充実した社会奉仕活動に努めてまいりたいと思います。

ニコニコ箱

ホームクラブ皆出席

山田 S.A.A

安積、大木、高島

伝統の茨木ロータリー例会にお招き頂きありがとうございます

樋上地区委員長

樋上委員長 本日の卓話を頂き厚く御礼申し上げます

笠原

弁天宗の花火大会にベトナムからの実習生を招待して頂きました 大森会員有難うございました

簡

大森会員 素晴らしい花火大会まことに有難う

ございました

戸川

欠席ばかりで迷惑をかけております

田中

戸川会員写真ありがとう 秋山、日野岡、長澤、大森

本日計 34,000円

累計 359,000円

次回卓話

「3分間スピーチ」

掛谷建郎会員 野田征夫会員

大木会令司員 戸川通夫会員

橋本 淳会員

社会奉仕フォーラム

日時：2004年8月25日(水)

例会後13:30~14:00

場所：例会場

司会：笠原社会奉仕委員長

司会：最初に長澤会長に先導役をお願いします

長澤会長： 地区社会奉仕委員会では、献血を各クラブに推進しておられますが、ライオンズクラブでは、以前より献血委員会を設置し、毎年熱心に取り組んでいます。ロータリーが取り組む必要がない、とは言いませんが、地区としてどのように考えておられますか。

樋上地区委員長： ロータリーも大阪駅前に垂れ幕を作り大々的にやっております。駅前で年間何万人もの人が献血をされています。1~4月の冬場に一番不足し、在庫量もほとんど無くなってしまうということで、大阪府血液センターとここ何年か、色々話をしました。やはりお金ではダメだということで、地区では各クラブをお願いして、少しでも輪を広げてはどうかということで、本年度の目標の中にも献血拡大が入っております。このことを皆さんにご理解してもらって、地区というのは、何をすることも各クラブの会員が主体で、それをアシストするという形、場所を提供する補助的なものです。会長以下委員長に、会員にご説明頂き、ご理解頂くのが大きな目標です。

司会：地区補助金の使い方についてはいかがでしょうか

樋上地区委員長： 6万ドルの中でどう使うのか、本当に有意義に使えるお金を使うのが当たり前で、このシステムも昨年からはじまったばかりで、先ず各クラブに、企画をされお使いになれば、少しでも役に立つということを知ってもらう。本当は少なくともいいが、有意義な使い方があれば、1500ドルの上限はいらなと思います。昨年の33クラブを、今年は86クラブ中で、もっと多くのクラブに活用してもらうということで上限を設けました。本来ならばそういうのはないが、全体の予算が6万ドルなので限度はあります。企画によっては、そういう形であってしかるべきで、本来のロータリーの姿であると思いますが、今年度は2年目ということでこの形で出発しました。改良すべき点は改良させて頂き、よりよい補助金の活用をしたいと思っています。

司会：簡直前会長、今までのご経験から一言お願いします。

簡直前会長： 確認ですが、DDFは今年度使わない場合は、次年度に繰り越せる予算でしたか(繰り越せない)

上限を決められると、例えば試算では、6万ドルで40件の案件に補助を出すわけですが、逆に年度の、ある時点で予算を消化しないこともあるのではという懸念もしますが。

ロータリーの場合、社会奉仕の活動に、お金も出して、肉体的にも参加して奉仕するのが理想ですが、年齢層を考えるとむづかしい面があります。悪いことではないが、我々のクラブも最近は色々な事例に対して、金銭的援助が主になっているので、出来る限り皆さんで参加出来る奉仕活動をとと思います。幸い我々のクラブはローターアクトを提唱しているのでローターアクトの育成も含め、ローターアクトも参加出来る社会奉仕活動を企画されたらいいのではと、最近考えます。

司会：ローターアクトの件はいかがでしょう

樋上地区委員長： ローターアクトは、これから重要な問題だと思います。どこの会員も高齢化しているので、人材育成と、若い人に我々の行事の門戸を開いて、一緒にやっていくのがこれからの課題ではないかと思われれます。どこのクラブもおっしゃいますが、企画は出来るが実践になると参加者が少ない。予定はしているが、当日仕事の関係で欠席になる。ロータリーの基本は奉仕でございまして、お金を出すだけではロータリーとはいえない。宮田ガバナーも、他団体の寄付の場合は、出来るだけお断りしてほしい、ロータリー自ら体を動かそうではないか、ということをお皆さんにお伝えしてほしいというのが今年度の考え方ですのでご理解頂きたい。今後ローターアクトと一緒に活動出来たらと考えております。

笠原社会奉仕委員長： 私の個人的な意見ですが、献血運動に関しまして、例えば「愛は地球を救う24時間テレビ」等の放送で若い人達に人気のあるタレントに献血を呼びかけてもらう様な根回しとか、下準備といいますが、ロータリーが直接表に出なくても、その仕掛けを考えてはいかがなと思います。

樋上地区委員長： 要はマスコミをうまく利用する。今年はR I 100周年で、各クラブ色々行事をされていますが、マスコミが飛びついて来るだろうというのはありません。これまで、マスコミに対するコンタクトが弱かったのではないかと、ロータリーをもっと宣伝すべきという意見もあります。この前、城東RCさんがNHKで放送していました。もう少しマスコミさんにお世話になり、マスコミを利用できるパイプを持っていかなければという話があります。

司会：秋山副会長いかがでしょうか

秋山副会長： 社会奉仕事業は、地域が求めている事柄を掘起こし具体化してゆくには、相当早い段階から取りかからなければならぬ。特に地区補助金を得て活動するには、前年度から動き始めるクラブ内のシステム作りが必要となるように思う。又、奉仕を受ける側からは、継続を求められる事も多いと聞いている。地区内では、平均何年ぐらいの継続事業となっているのか、実情を教えてください。

樋上地区委員長： どのクラブさんも、行事は単年度がほとんどです。一応基本があっても、長期に3年とか5年周期があっても私はいいと思います。決めるのはクラブさんです。地区にしても、単年度も長期計画もあります。

司会：橋本会員の時代は何十年も前ですが、どういった活動をされていたか、お話し下さいませんか

橋本秀雄会員： 約30年程前には、市内の道路標識など完備していない地点が多くありまして、阪急京都線と主原町で斜めに交叉する地点に実施しました。ローターアクトの育成ですが、私の会長時に追手門大学生を以て設立しましたが、例会は平日の夕刻ですが、奉仕活動は日曜日に限定されますので、活動に同行するため、忙しくて苦労しました。現況では無理だと思います。

樋上地区委員長： 茨木ロータリーさんで、地区に対してご要望とか、こういうのがあればとか、ご意見があればお願いします。

司会：菊山会員お医者さんの立場からいかがでしょうか

菊山会員： 幸い血液がないと云われたことはありません。非常に助かっております。特に産婦人科は、緊急で血液が必要ですので、大いにロータリーでも献血運動を促進して頂きたいと思います。

司会：会長いかがですか

長澤会長： 以前に比較すれば社会奉仕のあり方そのものも変化していつている中で、私達が見過ごしている事が、まだこの地区の中を見てもあると思いますし、ロータリーは異業種の集まりでもあり、多面的に見ることが出来るように考えます。

樋上地区委員長： 地区でも色々考えておりますが、ちょっとした事、これが1番見落としやすいんです。ですから、逆にこういう機会に各クラブでそういったものがないか、それが良い事であれば地区でも見直して行く。全体的な流れは掴めますが、地域性がありますので、これをまとめるのも地区の役目だと思います。小さな事からコツコツと、が1番大事ではないかと思えます。皆さんも、そういった事があれば、ガバナー事務所の方へご連絡頂ければ幸いです。

司会：本日は地区社会奉仕委員長をお迎えして、皆さんから活発なご意見を頂き誠に意義のある30分ありがとうございました。樋上委員長に感謝を申し上げ本日のフォーラムを終わらせて頂きます。誠に有難うございました。